

寄贈資料展示 初めての卒業アルバム

令和3年度の学校生活は、昨年度と同様にコロナ禍により各行事が中止、もしくは変更を余儀なくされる1年間となりましたが、いよいよ卒業式を迎える季節となりました。今回は、新設された小学校が初めて出した卒業アルバムを紹介します。

最後になりましたが、貴重な資料を寄贈していただいた方へ改めてお礼を申し上げます。



第三砂町小学校卒業アルバム・表紙（昭和6年3月）

第三砂町小学校について

第三砂町小学校は、昭和5年(1930)5月に開校した、砂町地区三番目にできた学校です。既に砂町には砂町尋常高等小学校（今の砂町小学校）第二砂町尋常小学校（平成12年に第二東砂小学校と統合して第二砂町小学校となる）がありました。しかし、砂町地区の発展に伴い、児童の数が増え、授業を午前午後の二部に分けるなど、対応に苦慮していました。そのため児童増加の対策として、新たな小学校の新設が昭和4年5月に決定し、施設の整備が進められ、開校に至りました。

開校記念日は昭和5年5月27日ですが、実際には5月1日へ繰り上げられ、砂町小より663名、二砂小より180名が移り、計843名の児童と19名の教師で開校しました。

なお開校当時の正式な名前は「東京府南葛飾郡第三砂町尋常小学校」といいました。

展示資料(卒業アルバム)について

今回展示しているのは、昭和6年(1931)3月に刊行された第三砂町小学校の卒業アルバムです。この卒業アルバムは、前年5月に開校した同校にとって初めての卒業アルバムとなりました。第一回卒業生は、男子40名・女子51名でした。

さて、今回展示している箇所は、前年4月に竣工した校舎及び初代校長根本文蔵氏の肖像です。校舎は木造二階建て、当時としては洋風なモダンな建物と評価されました。当時は、現代のように埋め立てが進んでおらず、高層建築物が少なかったため、校舎からは、筑波連峰や東京湾、房総半島が望めたようです。

その後、小学校には、講堂や雨天体操場など施設が拡充されていきましたが、昭和20年3月10日の東京大空襲で全焼しました。従って、このアルバムに写る校舎は、戦災で焼失する以前の建築から間もない校舎を写した貴重な写真といえます。



第三砂町小学校卒業アルバム(昭6年3月)：校舎・根本文蔵校長



第三砂町小学校卒業アルバム(昭6年3月)：授業風景



第三砂町小学校卒業アルバム(昭6年3月)：全校遠足の記念写真

最初の全校遠足は、開校して間もない5月末に千葉県谷津海岸（現千葉県習志野市谷津）へ行きました。当時の谷津は、大正14年（1925年）に京成電鉄が「谷津遊園」〔昭和57年（1982）〕という遊園地を開設するなど、海水浴をはじめとする行楽地として賑わいを見せていました。